

# いま、 「死刑」を 考える

参加  
無料  
[定員400名]

～裁判員裁判を経験して～

日時・場所

平成23年 **5.28(土)**

午後1時30分～午後4時30分  
(開場午後1時)

**岡山大学  
創立50周年記念会館**

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

Program

■第1部 **基調報告** 岡山弁護士会弁護士

■第2部  
**パネルディスカッション**

パネリスト 田中 史生(読売新聞東京本社社会部 記者)

藤井 誠二(ノンフィクションライター)

森 達也(映画監督/作家)

コーディネーター 中村 有作(岡山弁護士会弁護士)

## パネリスト紹介

たなか 史生  
**田中 史生**

読売新聞東京本社社会部 記者

1973年、横浜市生まれ。早稲田大政治経済学部卒。95年、読売新聞に入社し、北海道支社を経て社会部。2003年から司法担当となり、裁判員制度を制度設計の段階から取材。08年以降は死刑や刑務所、更生保護をテーマにした長期連載を手がけている。共著に『死刑』『これ一冊で裁判員制度がわかる』『教育再生』(いずれも中央公論新社)など。



ふじい 誠二  
**藤井 誠二**

ノンフィクションライター

1965年、愛知県生まれ。高校時代から教育問題などに関心を持ち、さまざまな社会運動にかかわる。テレビやラジオなどのコメンテーターとしても活躍。愛知淑徳大学非常勤講師も務め、『ノンフィクション論』や『取材学』といった講座を受け持っている。著作に『殺された側の論理』(講談社)、『少年に奪われた人生』(朝日新聞出版)、『17歳の殺人者』(朝日文庫)、『少年犯罪被害者遺族』(中公新書ラクレ)、森達也氏との対話『死刑のある国ニッポン』(週刊金曜日)、アフター・ザ・クライム(講談社)など多数。



もり 達也  
**森 達也**

映画監督/作家

1998年オウム真理教の荒木浩を主人公とするドキュメンタリー映画「A」を公開、各国映画祭に招待され高い評価を受ける。2001年、続編「A2」が、山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別賞・市民賞を受賞。著書に『「A」マスコミが報道しなかったオウムの素顔』(角川文庫)、『きみが選んだ死刑のスイッチ』(理論社)、『死刑』(朝日出版社)、『神さまってなに?』(河出書房)、『死刑のある国ニッポン』(週刊金曜日)、『A3』(集英社インターナショナル)など多数。



主催 岡山弁護士会 〒700-0807 岡山市北区南方1-8-29  
TEL(086)223-4401(代)

共催 中国地方弁護士会連合会

岡山弁護士会

検索

# いま、「死刑」を考える

## ～裁判員裁判を経験して～

死刑について考えたことがありますか。

死刑が、いつ、どのようにして行われるか知っていますか。

平成21年5月から裁判員裁判が始まり、これまでに5件の裁判で死刑判決が言い渡されました。(平成23年3月31日現在)

3人の裁判官と市民から選ばれた6人の裁判員で決めたことです。

いま、誰でも裁判員に選ばれ、いやおうなく、死刑について考えなければならない時代になったのです。

日本には死刑が残り、現実に執行されています。しかし、EU諸国をはじめ、世界の約7割の国が死刑を廃止しています。

死刑の意義、問題点、日本の状況、世界の状況、さらに死刑、無期懲役を含む刑罰ひいては犯罪の状況を検討し、死刑が必要か、廃止すべきかなどについて、一緒に考えてみませんか。



### 交通アクセス

- JR岡山駅西口から岡電バス「岡山理科大学」行に乗車、「岡大西門」で下車して徒歩約1分。
- JR岡山駅前から岡電バス「岡山大学・妙善寺」行に乗車、「岡大西門」で下車して徒歩約1分。
- JR岡山駅前から岡電バス「津高営業所」行に乗車、「岡山大学筋」で下車して徒歩約7分。  
※JR岡山駅前からの2路線は市内を回るため時間がかかります。
- JR岡山駅西口広場からタクシーで約7分。
- JR津山線「法界院駅」で下車して徒歩約10分。

※駐車場はご用意しておりません。  
※岡大構内に有料500円の駐車場がありますが、数に限りがありますのでなるべく公共交通機関でご来場下さい。